



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 株式会社 進学会ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 9760 URL <http://www.shingakukai.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平井 将浩
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 竹山 正輝 TEL 011-863-5557
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,055	62.1	△345	—	△356	—	△383	—
2025年3月期第1四半期	1,267	35.1	61	—	70	—	16	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △403百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 53百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△21.79	—
2025年3月期第1四半期	0.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	24,294	8,835	36.3	505.63
2025年3月期	23,617	9,313	39.4	527.57

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 8,830百万円 2025年3月期 9,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,770	34.5	△190	—	△160	—	△210	—	△11.86
通期	7,500	20.1	70	—	100	—	50	—	2.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	20,031,000株	2025年3月期	20,031,000株
2026年3月期1Q	2,565,596株	2025年3月期	2,382,496株
2026年3月期1Q	17,589,479株	2025年3月期1Q	17,748,554株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や、インバウンド需要の増加、政府の各種施策などから、ゆるやかな景気の持ち直しが見られました。一方、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクの高まり、国内物価上昇の継続による個人消費への影響、金融資本市場の変動等の影響に注視を要する状況にあり、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような環境のもと、当社グループが今後の更なる成長を実現していくために、提携各社との一層のアライアンスの強化を行い、指導法や教材開発、募集活動等のノウハウの共有を図るとともに、全国の直営会場体制に関しては採算性の重視とスピード感のあるスクラップ&ビルドにより、質と量の両面において教室網の強化を進めております。

当第1四半期連結累計期間の当社グループの運営につきましては、教育関連部門における個別指導部門を強化し、AIオンライン塾Go・KaKuを組み合わせた商品の開発など、売上増加施策に取り組んでまいりました。しかしながら、コロナ禍において影響を受けていた不採算本部・会場を昨年度末に閉じた影響で売上において計画を下回る結果となりました。

資金運用事業においては、前第1四半期の利益は好調でありましたが、当第1四半期は4月に米国政府の通商政策の影響から株価が乱高下しており、売上は好調であったものの利益において計画を下回りました。

不動産事業においては、2024年に新たに設立した会社が軌道に乗ってきたことにより、当社の所有している販売用不動産の売却がなされたことで、売上・利益ともに増加しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,055百万円（前年同四半期比62.1%増）、営業損失は345百万円（前年同四半期は61百万円の営業利益）、経常損失につきましては356百万円（前年同四半期は70百万円の経常利益）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は383百万円（前年同四半期は16百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しています。以下は前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

イ. 教育関連事業

コロナ禍で縮小させた会場数の回復を図るため、積極的な会場のスクラップ&ビルドを進めるとともに、採算性の向上に取り組んでおります。また、個別指導部門は生徒数・売上高ともに前年を上回っている一方で、集団授業の縮小により売上の前年同四半期比が下がりました。この結果、売上高は173百万円（前年同四半期比10.9%減）となり、セグメント損失は111百万円（前年同四半期は140百万円のセグメント損失）となりました。

ロ. スポーツ事業

道内3ヶ所に施設を構えるスポーツクラブZipは、昨年と比べ新規生の募集・入会ともに回復の兆しが見えてきましたが、募集が目標までの水準に届かず、売上高は77百万円（前年同四半期比4.9%減）となり、セグメント損失は16百万円（前年同四半期は7百万円のセグメント損失）となりました。

ハ. 不動産事業

不動産の売買や賃貸、学習塾部門の教室の管理・清掃に関わる不動産事業は、当第1四半期連結累計期間に当社グループが所有している販売用不動産の売却があり、その結果、売上高は575百万円（前年同四半期比315.4%増）となり、セグメント利益は125百万円（前年同四半期比57.8%増）となりました。

ニ. 資金運用事業

資金運用会社である株式会社SG総研の売上高は1,148百万円（前年同四半期比50.7%増）となり、セグメント損失は252百万円（前年同四半期は240百万円のセグメント利益）となりました。

ホ. その他事業

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入れ販売などを含んでいます。売上高は80百万円（前年同四半期比11.5%減）となり、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比22.3%増）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は16,234百万円となり、前連結会計年度末に比べて534百万円増加しました。固定資産は8,059百万円となり、前連結会計年度末に比べて142百万円増加しました。この結果、総資産は24,294百万円となり、前連結会計年度末に比べ677百万円増加しました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は15,192百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,164百万円増加しました。この結果、負債合計は15,459百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,156百万円増加しました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は8,835百万円となり、前連結会計年度末に比べて478百万円減少しました。この結果、自己資本比率は36.3%（前連結会計年度末は39.4%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月9日付「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、今後のさまざまな要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,476,347	5,305,329
営業未収入金	129,368	58,176
有価証券	305,566	2,551,595
商品及び製品	11,143	26,385
仕掛品	7,409	5,066
原材料及び貯蔵品	9,853	10,403
販売用不動産	2,767,669	2,382,061
未収入金	6,860,600	5,652,573
その他	137,480	248,659
貸倒引当金	△5,336	△5,336
流動資産合計	15,700,104	16,234,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,165,741	11,154,177
減価償却累計額	△7,445,872	△7,470,767
建物及び構築物（純額）	3,719,869	3,683,409
機械装置及び運搬具	548,226	548,226
減価償却累計額	△530,867	△531,985
機械装置及び運搬具（純額）	17,359	16,241
土地	3,064,442	3,064,442
その他	799,872	795,781
減価償却累計額	△789,419	△785,811
その他（純額）	10,453	9,969
有形固定資産合計	6,812,124	6,774,063
無形固定資産		
その他	11,035	9,811
無形固定資産合計	11,035	9,811
投資その他の資産		
投資有価証券	534,862	717,868
繰延税金資産	7,939	6,747
敷金及び保証金	107,954	107,577
退職給付に係る資産	352,458	353,428
その他	90,649	90,384
投資その他の資産合計	1,093,864	1,276,007
固定資産合計	7,917,023	8,059,882
資産合計	23,617,128	24,294,797

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,602	76,820
短期借入金	7,035,592	7,996,059
未払金	6,592,898	6,883,359
未払法人税等	118,932	16,661
未払費用	47,612	42,370
前受金	109,819	131,248
その他	50,887	46,137
流動負債合計	14,028,345	15,192,658
固定負債		
繰延税金負債	54,488	51,879
役員退職慰労引当金	96,158	98,002
資産除去債務	77,588	69,280
預り敷金保証金	46,700	47,614
固定負債合計	274,936	266,776
負債合計	14,303,282	15,459,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,984,100	3,984,100
資本剰余金	3,344,000	3,344,000
利益剰余金	2,976,995	2,549,652
自己株式	△1,043,057	△1,073,548
株主資本合計	9,262,037	8,804,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,587	△18,859
退職給付に係る調整累計額	51,357	45,633
その他の包括利益累計額合計	48,770	26,774
非支配株主持分	3,038	4,383
純資産合計	9,313,846	8,835,362
負債純資産合計	23,617,128	24,294,797

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,267,933	2,055,893
売上原価	1,028,081	2,246,686
売上総利益又は売上総損失(△)	239,852	△190,793
販売費及び一般管理費	178,138	154,679
営業利益又は営業損失(△)	61,713	△345,472
営業外収益		
受取利息	274	15
受取配当金	7,801	7,093
補助金収入	3,825	—
その他	4,277	3,361
営業外収益合計	16,177	10,469
営業外費用		
支払利息	3,241	11,703
解決金	2,600	9,000
賃貸借契約解約損	1,809	—
その他	71	416
営業外費用合計	7,721	21,119
経常利益又は経常損失(△)	70,169	△356,122
特別利益		
固定資産売却益	75	—
投資有価証券売却益	10,672	—
特別利益合計	10,747	—
特別損失		
固定資産除却損	1,495	346
特別損失合計	1,495	346
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	79,420	△356,469
法人税等	62,980	25,407
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16,440	△381,876
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△162	1,345
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	16,603	△383,221

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16,440	△381,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,395	△16,272
退職給付に係る調整額	△6,890	△5,723
その他の包括利益合計	37,505	△21,995
四半期包括利益	53,946	△403,872
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,108	△405,217
非支配株主に係る四半期包括利益	△162	1,345

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	教育関連 事業	スポーツ 事業	不動産 事業	資金運用 事業	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	194,736	81,110	2,053	—	277,901	90,883	368,784	—	368,784
その他の収益	—	—	136,607	762,541	899,149	—	899,149	—	899,149
外部顧客への 売上高	194,736	81,110	138,661	762,541	1,177,050	90,883	1,267,933	—	1,267,933
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	1,851	52,792	—	54,643	45,114	99,757	△99,757	—
計	194,736	82,961	191,453	762,541	1,231,693	135,997	1,367,690	△99,757	1,267,933
セグメント利益 又は損失(△)	△140,951	△7,801	79,333	240,323	170,903	19,130	190,034	△128,321	61,713

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主に各グループ会社への経営指導料、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用、及びセグメント間の取引の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	教育関連 事業	スポーツ 事業	不動産 事業	資金運用 事業	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	173,441	77,096	439,231	—	689,769	80,420	770,190	—	770,190
その他の収益	—	—	136,728	1,148,974	1,285,702	—	1,285,702	—	1,285,702
外部顧客への 売上高	173,441	77,096	575,959	1,148,974	1,975,472	80,420	2,055,893	—	2,055,893
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	2,490	45,972	—	48,462	44,699	93,161	△93,161	—
計	173,441	79,586	621,931	1,148,974	2,023,934	125,120	2,149,055	△93,161	2,055,893
セグメント利益 又は損失(△)	△111,206	△16,195	125,167	△252,076	△254,311	23,391	△230,919	△114,552	△345,472

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主に各グループ会社への経営指導料、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用、及びセグメント間の取引の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、報告セグメントのうち従来の「賃貸事業」を「不動産事業」に変更しています。

当社グループは2024年4月に株式会社ホクシンビル開発を設立し、不動産の売買を開始しました。これにより従来のマンションの所有、管理・清掃を行う「賃貸事業」に不動産の売買を加えて「不動産事業」と名称を変更しております。

なお、前四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分により作成したものを記載しています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	49,081千円	42,541千円